

(別紙4(2))

事業所名 グループホームうらら

目標達成計画

作成日: 平成 29年 12月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプラン作成から家族に同意のサインを頂くまでに期間があいてしまう事が多々あり、職員により介護計画の内容把握にバラつきがあり面会に来られた家族にその都度の説明が出来ていない事が課題である。	入居者、個々の担当職員がケアプラン内容の説明及び同意サインを家族面会時に随時、頂けるような体制作りを行なう。	入居者の担当職員が介護計画を把握し説明出来るようにユニット会議で計画作成者が担当職員にむけ説明を行う。	6ヶ月
2	6	職員の身体拘束への理解はあるが、現状として、日常的に帰宅欲求によるエスケープがみられる入居者に対しスピーチロックに繋がる対応も見られ、見守りが出来ない状況下では外門の施錠を行なっている事が問題点である。	入居者の周辺症状がどうして日常的みられるのか着目し周辺症状が起こりうる前の職員の対応の改善を行なう。	認知症介護への知識を深める研修へ多くの職員が参加出来るようし、周辺症状に対するケアへのスキルアップ教育を行なう。	12ヶ月
3	31	施設看護師と介護職の連携や入居者ケアの連携、協働、情報共有、相談等が出来ていない。看護師がもっと入居者と関わりと接する時間をもち状況観察や把握をし看護・介護を実践し介護士と連携、協働して欲しい。	看護師がもっと入居者と関わりを持ち、介護職の協働と連携を図る。	看護師と介護職の意識改革と業務の見直し。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。